

Rotary



ロータリーは世界をつなぐ

2019～2020年度 マーク・ダニエル・マローニョ 副会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2020年4月16日(創立69周年)

呉ロータリークラブ週報 号外 Vol.2

■呉RC 2019～2020年度テーマ

「語り合いから始まるクラブの絆」

会 長 志々田 幸 治
副 会 長 山 村 貞 夫
直前会長 森 澤 大 司

幹 事 大 塩 俊 幸
会 計 天 野 成 幸

会長エレクト 長 尾 正 嗣
会場監督 坂 田 健 治

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12
呉商工会議所ビル南館7階 705号室

☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692

(例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120

(例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30

E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

4月例会中止にあたり、号外を発行致します。

井上さん送別の言葉



会長 志々田幸治

井上さんは2018年5月24日にご入会され2年間在籍されました。

入会后親睦活動委員会に所属され、家族会などの企画は、井上さんをととても頼りにされていたと聞いています。

本年度は社会奉仕委員会の副委員長として、住田委員長をサポートされ活動されていましたが昨年の9月に急に体調を崩されたとお聞きし、驚き、案じておりました。

井上さんは一見、お酒が強そうに見えますが、まったく飲まれないと言われ、驚いたことがあります。

私が特に印象に残っているのは、昨年の職業奉仕担当例会で卓話頂いた時のお話です。

井上さんが取り組まれた、経営の話は大変勉強になりました。

皆さんもお聞きになったことと思いますが、フィリップ・コトラーの経営学の話やセリングからマーケティングの時代に移行している時代STP(S対象 T狙う客層 P他社との差別化)を図る話、レモンケーキを開発された話など、経営の取り組みの考え方が大変興味深く心に残っています。もっとお話を聞きたいと思っていました。

このたび退会されることは残念ですが、呉に來られたときには、是非、気軽に顔を見せて頂きたいと思います。

どうぞお体を大切に。ありがとうございました。

呉RC退会のご挨拶



(株)阪急ホテル 井上 豊

呉在任5年間のわずか2年間でしたが、当ホテル退任、退職に伴いまして、呉ロータリークラブを退会させていただき事となりました。昨年10月に体調を崩して以降、皆様にご迷惑とご心配をおかけしたまま、本日に至ってしまいました事、改めてお詫びいたします。またその間、本クラブの会員でいらっしゃるドクターはじめ、市内医療施設の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。お陰様で体調も回復しつつありますが、ホテル社長職を従前同様に続けるのは厳しいと判断して退任を決断しました。

皆様からはロータリアンとしてだけでなく、人間としてどうあるべきかを学ばせていただきました。印象的な思い出は、私と同時期に入会されたロータリー1年生を中心とした親睦活動委員で担当させていただいた家族例会です。そして、例会の食材として向井様からご提供いた

だいた新米。せっかくいただいた以上、白ご飯の魅力を最大限に楽しめるメニューにしなければと考えた土鍋ごはん。どちらも小さな発想を何倍にもして皆様に喜んでいただく。そして何より、自分自身が楽しんで、喜びを感じました。

個人的には、大好きなホテル屋人生の最終任地が呉であった事を本当に幸福に思います。またホテルとしては、それほど認知度が高いわけでもない阪急ブランドの当ホテルを「阪急さん」と呼んでいただいていたの長年のご愛顧に感謝し、何らかの地域貢献でご恩返ししたかったのを叶える事ができなかったのが心残りです。

心優しくも男気に溢れたロータリアンの皆様、大好きになった呉の町とのお別れが寂しくなりましたが、呉ロータリークラブの更なる発展と、呉の繁栄をお祈りいたしております。皆様には感謝の言葉以外ございません。誠にありがとうございました。

近江国を訪ねて



歴史同好会・美術鑑賞の会 明神 博

出発を早め、長浜市に入る。再興された長浜城は現在は博物館となっている。ここでジオラマを見ながらこのあたりの戦国時代の戦の様子を俯瞰し、戦国時代の印象を心にとめて次の訪問地の予備知識とした。北陸本線木ノ本駅から近江塩津駅まで車窓より余呉湖を望む。奥には琵琶湖。二つの湖に挟まれた賤ヶ岳は織豊時代の分岐点とも云われ、その闘いは激しく勝利した秀吉は天下人として歩み始める。

バスに乗り継ぎ湖西地方を南下していく。

「高島の阿渡の水門を漕ぎ過ぎて塩津菅浦今か漕ぐらむ」と詠まれているように、大津から北国街道に入るには陸路よりむしろ水路を使った方が当時から便利であった。

琵琶湖大橋を渡り、佐川美術館に向かう。水庭に浮かぶように設置されている美しい美術館。平山郁夫と佐藤忠良の作品が常設されている。間近で見ることのできる作品はいづれも逸品である。ここも是非訪れて頂きたい。

3日目、早朝より彦根市に移動、彦根城の築城とともに建設された町屋を再開発された夢京橋キャスルロードを散策。往事の風情を残し、落ち着いた静かな町並みに出会うことができた。湖東を南下し、日本最古のブランド牛、近江牛での食事会。3日間の疲れもなく、その味に只堪能するひとときであった。琵琶湖大橋を渡り大津市に入る。近江八景「堅田の落雁」で名高い浮御堂満月寺にて参拝。欄干から琵琶湖を一望することができる。芭蕉もここで「錠あけて月さし入れよ浮御堂」と句を詠んでいる。天智天皇が大津に都を移した遺跡が今に残る。近江への挽歌を柿本人麻呂は「近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もしのに古思ほゆ」と古都を懐かしんでいる。秋雨の中、琵琶湖が車窓から次第に離れていく。万葉の旅はこれからも続く。



この度の旅行に際し、大村一郎会長には早くから琵琶湖周辺の調査、資料の準備などして頂き細かな解説を加えて頂き、密度の高い旅行とすることができました。武田保信会員には織豊時代の分岐点とも云われる賤ヶ岳の戦いを人物の面から深く解説して頂き、旅行に時代の深みを与えて頂きました。飽くことの無いよう宿泊、食事と早くから手配を準備して頂き、参加者に貴重な思い出を作って頂いた藤井清実会員。夫々の皆様に感謝申し上げます。



ロータリー財団月間卓話を拝聴して

ロータリー財団委員長 中野 誠吾

去る令和元年11月14日、ロータリー財団月間ということで、RI第2710地区ロータリー財団委員会委員三吉孝治様にお越し頂き、ロータリー財団について卓話頂きました。

内容は、ロータリー財団が発足した経緯から始まり、近時の収支報告、財団寄付金の流れ（シェアシステム）、補助金申請事業の紹介というものでした。

ロータリー財団発足の経緯については、財団の歴史や根本理念を理解することができ、また、近時の収支報告については、具体的な数字で見ると、改めてロータリー財団が社会に多大な貢献をしていることがよく分かる内容でした。

また、財団のお金の流れに関するシステムを理解するのは難しく、このことが寄付を妨げる一因になっているのではないかと感じています

が、卓話ではこの点に重きをおいてお話頂き、理解の一助になったのではないかと思います（詳細については、添付資料をご参照下さい）。

補助金申請事業については、グローバル補助金及び地区補助金の概要、その申請システムについてご説明頂き、近時変更された点もあるとのことでした。当クラブのロータリー財団委員会でも、補助金申請事業を行うかどうか、行うとすればその内容について協議する必要があると考えています。

当クラブのロータリー財団委員会としては、今年度「自発的寄付の増加」を目標に掲げていますが、その前提である「財団に対する理解」が深まる内容だったと思います。皆様方におかれましては、今後とも引き続きご協力、ご支援下さいますようお願い致します。

4. 補助金について



国際ロータリーの使命：職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進すること。



R財団の使命：ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

補助金プロジェクトのキーワード：

健康状態を改善し、**教育**への支援を高め、**貧困**を救済すること



The Rotary Foundation of Rotary International.

【財団寄付の流れについて 2019-20】
地区の財団活動資金はどこからくるのか【シェアシステム】（今年度途中概算報告2019-10E）

